

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	現状ではコロナ感染予防のため、学習が終わったら前庭に出るなどしながら、特に距離には気を配っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	全職員に随時配置を確認し、管理者が最終チェックを行なっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	2(当該児童なし)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	0	0	定例ミーティングと開所前後の申し送りにて意見交換を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	アンケート結果を全職員に開示し、改善策を全職員で意見交換している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	ホームページでは公開している。公開時にはSNS等でも周知する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	3	必要性については、今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2	0	福祉の分野だけに限らず、支援の向上に有意義だと思われる外部研修の情報に関しては職員に告知していくとともに、職員からも意見や希望を出してもらおう。虐待防止に関する研修は適宜実施し、時節柄感染予防に関する研修も定期的に行なっている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	主に担当する職員2名と児童発達支援管理責任者で会議を行い、計画のベースを作成したのち、全職員から意見を求めている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4	0	標準化されたアセスメントツールの有効性について、引き続き検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	それぞれの児童の個性や能力を十分に考慮した上で、活動プログラムの立案に特化したミーティングでディスカッションを行う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2	0	教材の見直しを行い、児童本人および保護者からも取り組みたい課題の希望を聞く。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2	0	学習支援に関しては基本的に各家庭、各学校からの要望に沿って支援している

						が、習熟度によってこちらからも提案を行う。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	0		児童のその日のコンディションや、保護者からのヒアリング内容なども合わせ、今後も引き続き柔軟に対応する様努める。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0		その日の利用者の前回利用時の様子や最近のコンディション等、利用者に関する情報をスタッフ全員で共有する様努めている。また、当日担当する子どもと個々の学習時間に関しては、全員が確認できる様にホワイトボードにて掲示している。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0		支援終了後に指導員間で情報を共有し、その日にあった事を確認する時間を設けている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0		利用日報については、全利用分を作成、記録している。日々の職員による打合せ時や、職員による個別の確認時に前回以前の利用日報を確認し、当日の支援に活かすように活用している。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0		モニタリングは年2回定期的実施し、保護者面談などを経て個別支援計画の評価及び更新を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	3	1		継続してガイドラインの総則を全職員で再度確認し、積極的に支援に組み込んでいく様努める。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	0		所長/児童発達支援管理責任者が参画し、必要な場合は担当の職員も同席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	1	0		利用者が通学する全ての学校のホームページは毎日閲覧している。各学校の毎月の学校予定を取り寄せている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	8		「いいえ 8(当該児童なし)」の回答については、医療ケアが必要になったことがない事が理由。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3	0		保護者または通園先からの依頼がある場合は対応し、積極的に情報共有をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	0	2		「いいえ 2(当該児童なし)」の回答については、まだ卒業生が少数な事が理由。

	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	3	0	豊島区の発達支援センターで開催されるセミナーなどに、参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	0	0	事業所の移転後は、地域の子供と交流する機会が増えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	2	イベントやセミナー開催時には、出来るだけ参加する様努める。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	連絡帳にはその日あった出来事をできるだけ詳しく記載し、そのほかの手段としてはメール、日々の電話連絡などにより、保護者の方々と連携して共通理解が深まる様に務めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	1	0	保護者の方々にとって相談窓口をわかりやすい形で設置する。同時に、個別の面談も積極的に行う様心がけている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2	0	継続して実施しているが、丁寧な説明の実施を事業所内で再度徹底する。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	助言及び支援は適宜行っている。保護者の方々が相談しやすい環境づくりに、今後も意識的に取り組む。また、こちらからも声かけを行なっていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	2	現状では十分にできているとは言えない状態だが、時節柄実際に集まることは難しいため、オンライン開催も含め保護者会を実施できるように検討する

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	苦情受付及び処理のフローは事業所にて整備している。苦情があるケースはこれまでほぼ発生していないが、発生時には法人全体で迅速適切に対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2	0	公式 LINE アカウントを設置し、保護者の方々への定期連絡体制および緊急連絡体制を整備し、運用している。今後、紙媒体による会報の発行にも着手していきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	鍵付きロッカーの使用を含めて、個人情報の取扱いには十分注意を払っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	わかりやすい表現、繰り返しての情報発信など、相手方にとって理解しやすい発信を心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	8	事業所移転後は、地域の催し(お祭り、餅つきなど)への積極的な参加を予定していたが、コロナの感染拡大により本年度は参加出来ず。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	マニュアルを整備し、事業所内掲示及び職員への周知を実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	春と秋に、定期的な避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	児童発達支援管理責任者を講師として、定期的な虐待防止研修を事業所内で実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	3	0	身体拘束を実施するケースは、これまで発生していない。発生した場合は、適切に対応する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	2	「いいえ 2(当該児童なし)」の回答については、これまで食物アレルギーのある子供の利用が無い事が理由。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	0	ヒヤリハットは事業所内で日々のミーティングや記録にて共有し、改善対策を実施している。また、新しい事例が発生した場合は、共有したのち対処法を検討している。